

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1.基本情報

大学名	津田塾大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京
大学全体の総収容定員	2,760名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	学芸学部（英語英文学科、国際関係学科、多文化・国際協力学科、数学科、情報科学科）、総合政策学部（総合政策学科）		
事業計画名	津田塾大学国際数理データサイエンス学部設置計画		

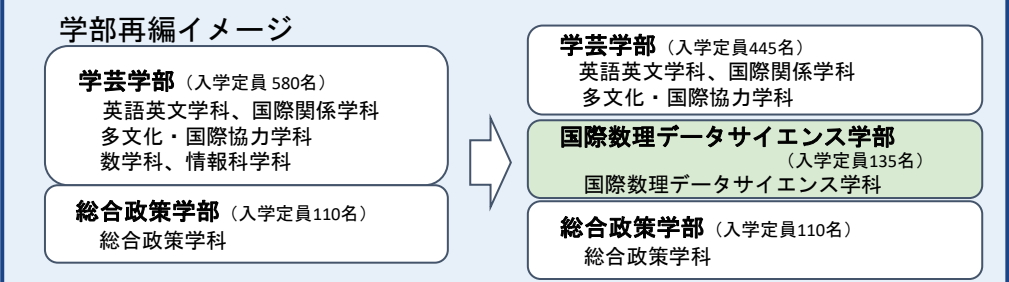
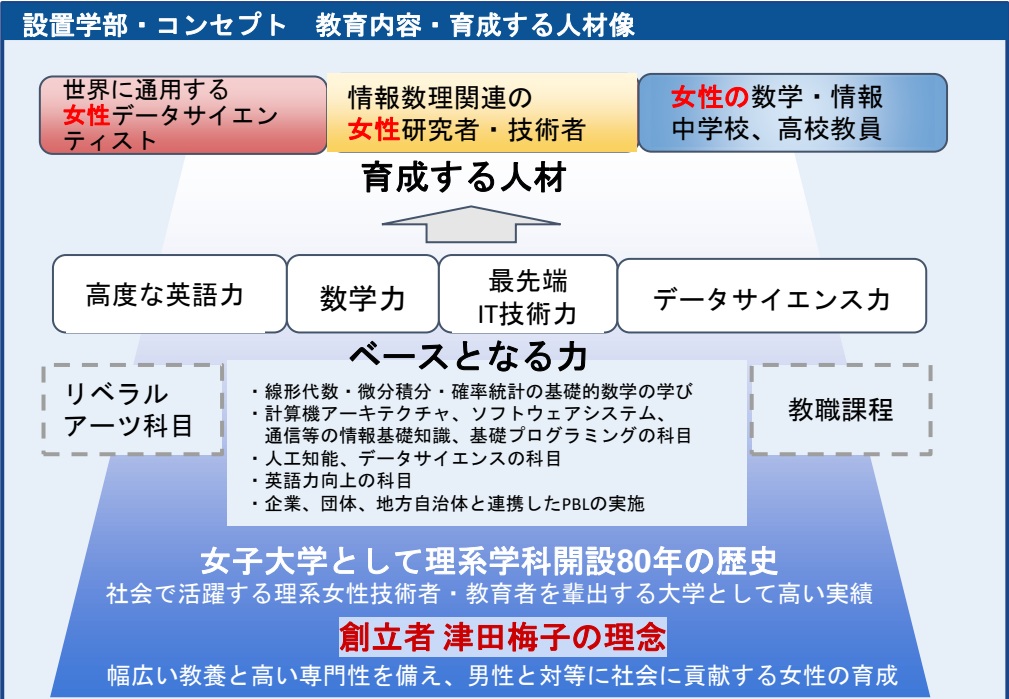
2.事業概要

本学学芸学部設置されている数学科、情報科学科を改組し、高度な英語力を駆使し、数学力を伸ばし、最先端IT技術とデータサイエンス力を育むと同時に、社会の要請に応じた応用力、洞察力を伸ばし、その利用戦略が世界に通用する女性データサイエンティストの養成を目指すため「**国際数理データサイエンス学部**」を設置する。本学部は**国際数理データサイエンス学科1**学科にて構成される。データサイエンスの学びの基盤となる数学および情報科学基礎を全員で共通して学び、さらに発展として、数理情報の応用と研究が可能なコース、最先端のIT技術（人工知能を含む）・データサイエンスの学びと研究が可能なコース、IT技術（人工知能を含む）・データサイエンスの知識と技術を基盤として、社会課題の解決に応用する文理融合・分野横断型の学び・研究のコースによって構成する予定である。IT技術・データサイエンスの普及自体が生み出す問題や格差に配慮した学び（データフェミニズムなど）もカリキュラムに組み込むことを検討する。留学生を積極的に受け入れ、最終年度には英語にてディベートができる英語力を身につけられるカリキュラムを編成する予定である。理系の学びを選択する女性を増やすには、中学・高校にてロールモデルを示すことが重要である。このため、従来の教職課程を維持し、数学、情報の教員免許も取得できるようにする。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	国際数理データサイエンス学部・国際数理データサイエンス学科					
設置等組織の学位分野	理学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	東京都小平市津田町					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	135名					
他学部等の入学定員の減少数	135名					

事業計画名		津田塾大学国際数理データサイエンス学部設置計画			
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	国際数理データサイエンス学部 国際数理データサイエンス学科	入学定員増数（合計数）	135名
所在地	東京都小平市	改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）	入学定員減数（合計数）	135名



社会のニーズ・課題

Society 5.0 の実現 ⇒ 優れたデジタル人材の輩出が急務
特にIT分野での女性研究者・技術者の少なさが顕著
女性のロールモデルの少なさ、社会のジェンダーバイアス

【デジタル人材に必要とされる資質】

- 国内外の研究者・技術者とITの先端技術による協働できる力
- データサイエンスとその応用に貢献できるIT技術力・数学力
- 文理融合的な知識を有し、活用できる力

連携を通じた教育体制の整備

連携推進センターを軸とした連携の整備	渋谷区、佐原アカデミア、伊藤園等との連携
単位互換協定大学との連携	一橋大学、電気通信大学、東京外国語大学 多摩アカデミックコンソーシアム加盟校
企業・団体との連携	富士通、NTT研究所、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、国立研究機構法人情報通信研究機構（NICT）などを予定
海外大学との留学協定	アッパーオーストリア応用科学大学（オーストリア）*、プレーメン工科大学（ドイツ）*、プレーキング工科大学（スウェーデン）*、チュラーロンコーン大学（タイ）** 【*協定締結済 **締結予定】

多様な入学者の確保

英語外部試験を利用した入試の導入	英検（実用英語技能検定）、TEAPを活用した方式の入学者選抜の導入
高大連携の強化	日本各地の高校・中等教育学校との連携強化（2023年度協定9校 ⇒ 2024年度14校を予定）
留学生受入の拡大	英語圏のみならず、アジア圏の留学生を積極的に受け入れ。英語で行われる授業科目を拡充。